

# 歴史の真実を求める世界連合会

GAHT-US CORPORATION

## 公開書簡

2018年3月2日

ブルックヘブン市 市長、市議各位

論争となった慰安婦像が貴市ブラックバーン公園に設置されてから8か月が経ちました。私たちは像の設置を今も遺憾に思っています。それは、今月末に同公園で桜祭りが開催されるからです。私たちは、貴市の去年の像設置の決定を早急に見直すことを求めます。

貴市の決定が不適切である理由は以下です。

1. 歴史的記録から、像の碑文の記述は誤りであることは明らかです。慰安婦は強制的に雇用されたのではなく、また奴隷のように扱われたのでもありません。慰安婦の数は数十万より遥かに少なかったのです。
2. 日本政府は人権侵害で責められるべきではありません。米国政府が2007年に発表したIWG報告 (<https://www.archives.gov/files/iwg/reports/final-report-2007.pdf>)でもそういった証拠は一切見つかりませんでした。
3. 慰安婦問題は2015年に日本政府と韓国政府の間で最終的、不可逆的に解決しました。
4. 記念碑（像）は正当な理由もなく日本人と日系人を非難するもので、非難する側とされる側の市民を分断するものです。
5. 桜は日本人にとって特別に大切な存在です。慰安婦像が設置されている公園で桜祭りを開催することは、日本人に対する非常に冒瀆的な行為です。全ての日本人がこれ知ったら怒るでしょう。
6. 記念碑（像）は公共の場において危険な障害物です。身体に怪我を及ぼす危険性があり、擁護者と反対者の争いとなることも考えられ、高額な訴訟となる可能性も十分にあります。管理維持費や保険保障の費用はかなりかかるでしょう。

従って、私たちは貴市に対して、早急に去年の決定の見直しと像を公有地から撤去することを求めます。この書簡は、公園の記念碑（像）に対する新たな理解のために関係者に送ります。

目良浩一

GAHT-US 代表